

竹林のこと

ちくりん

おしえて!

もうそうちく
山崎公園に生えているのは「孟宗竹」。日本で最もポピュラーな竹です。
タケノコは生長が早く、4月に地面から顔を出すと、どんどん伸びて、
6月には10mを超える立派な竹になります。
★愛護会では毎月一回、「竹林の整備」を行っています。

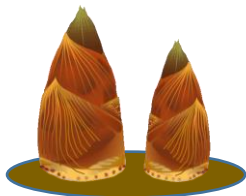


Q. どうして
「竹林の整備」を
しなくちゃいけないの?
自然のままじゃ
ダメなの?



A. 竹は生命力が強く生長が早いので、放っておくと
どんどん増えてゆきます。すると竹林は混み合い、
日当たりの悪い、薄暗い竹ヤブになってしまいます。
また、太い竹が育たず、細い竹ばかりが増え、
皆が大好きなタケノコも、生えなくなりますよ。

Q. 竹が多ければ
タケノコもたくさん
生えるんじゃないの?



A. 古い竹や細い竹がいくら多くても、良いタケノコ
は生えません。タケノコは、新しい竹の根から、明るく、
まばらで、やわらかい場所を好んで生えます。
新しく太い竹が「傘をさして歩けるくらい」の間隔
で育っているのが、良い竹林とされています。



Q. 「竹林の整備」って
具体的に
何をやっているの?



A. 間伐(かんばつ)が主な作業です。古い竹や
余分な竹を切り倒して、枝をはらい、竹の長さを
揃えて片付けます。
また、タケノコの育つ前と、タケノコ掘りの後には
肥料をまきます。